

<研究名称>

英語医学雑誌に症例報告を行う

演題名 : Bariatric surgery for Obese-end stage REnAl disease by laparoscopic Sleeve gastrectomy followed by Stepwise initiation of peritoneal dialysis using a buried catheter -BOREASS surgery-: A case report

<実施責任者及び実施担当者>

責任者 : 山下 智久、腎臓内科、医師

<研究期間>

<診療・研究の目的>

意義 : 高度肥満症を合併する末期腎不全患者に対する肥満手術と腹膜透析チューブ同時挿入手術は既報がない。今回上記の手術を当院通院中の患者に施行し成功した。

本手術は同時手術を行うため患者への侵襲が少なくなることに加えて、腹腔鏡を用いることで安全に腹膜透析カテーテルをダグラス窩に挿入することができるという利点があるため、臨床上非常に有意義であると考えている。

<実施内容 (方法) > <危険性 (副作用) 等>

すでに手術を施行した症例の経過を英語論文化する。すでに状態は安定しており、追加の危険性はない。

<倫理上問題になると考えられる事項>

手術に先立ち肥満手術のリスクおよび腹膜透析カテーテル挿入術のリスクを説明し、同意を得た。さらに手術に先立ち患者およびご家族に対し、「今回の手術はすでに確立した手術を同時に行うというものであること」「手術回数が減ることに加えてカテーテル挿入時に腹腔鏡を用いるというメリットがあること」を説明したうえで、同時手術が世界に例がなく、症例報告をすべき手術であることをお話しし、文書で同意書をいただいた (添付)

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 腎臓内科 山下 智久

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648